

新入生・高齢者を交通事故から守る

生活安心課 ☎ 36-7144

春の全国交通安全運動

5月11日～20日の10日間「春の全国交通安全運動」が実施されます。交通安全ルールの順守とマナーの向上を心掛けましょう。

子どもと高齢者の交通事故防止

運動の基本として、次世代を担う子どものかげがえのない命を社会全体で交通事故から守ることを目指し、児童の通学ルールや交通マナーの習得を進めます。また、交通事故の全死者数の半数以上を占める65歳以上の高齢者の交通事故の根絶を目指します。



いきいきクラブ大会での広報活動



川根小学校新入学児童の下校指導

運動の重点

① 自転車の安全利用の推進

自転車関連交通事故件数	約12万件	死亡事故件数	603件
(平成25年全国の状況)			
自転車の交通事故件数	103件	死亡事故件数	1件
(平成26年市内の状況)			

市内でも重大な事故が発生しています。信号機がない交差点での事故や、出会い頭の交通事故件数は全体の半数を超えます。信号機では、自転車を降り、横断歩道を歩いて渡ったり、高齢者は自転車で夜間外出を控えたりするなど、自身を守る対策が必要です。

運転免許制度のない自転車は、交通安全教育の機会が少なく、ルールが徹底されていないことから、さらに交通安全教育や周知を進めていきます。

② シートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底

シートベルト着用率) (平成25年全国における後部座席のシートベルト着用率) 35・1% 高速道路 68・2% 全国のシートベルト非着用者の致死率は着用者の約15倍ですが、後部座席のシートベルト着

用率は、平成20年の着用義務化以降改善は見られません。市内では、四輪車でシートベルトの着用をせずに負傷した事故は、21件でした。

チャイルドシートの使用率も、全国で61・9% (平成26年4月) と、依然低調です。シートベルト・チャイルドシートの着用効果を伝え、着用の徹底を呼びかけていきます。

③ 飲酒運転の根絶

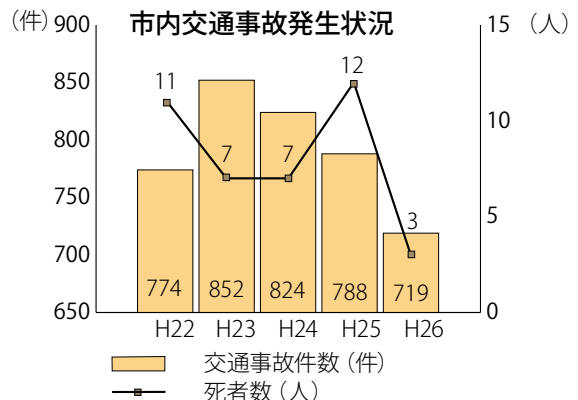
過去10年間をみると、全国の飲酒運転による交通事故は4分の1、死亡事故は3分の1に減少しています。なお、平成26年中の島田警察署管内の飲酒運転の検挙数は、22件でした。飲酒運転の根絶に向け、さらなる広報を進めていきます。

市内交通事故発生状況

平成26年中の市内の交通事故発生状況は、人身事故件数719件、負傷者数953人でした。ともに前年より減少しましたが、死亡事故の根絶には至らず、死者数は3人となりました。

市は、さらなる交通事故発生件数の削減と交通死亡事故の根絶を目指します。そのため、全国と県の基本方針に合わせ、交通事故死者の多くを占める高齢者の事故対策や、夜間事故防

止のための反射材着用促進などの交通安全対策に努めます。



生活用品活用バンクについて

今月号から、バンクの開店時間や登録品の掲載ホームページアドレスなどを「便利帳」(今月号は37ページ)でお知らせします。

登録品の最新情報は、ホームページで公開しています。トップページのサイト内検索で「活用バンク」と入力してください。また、電話でもご案内しています(火・木曜日午前9時～午後4時)ので、引き続きご利用ください。

☎ 36・7153
市民相談係